

事業箇所総合評価シート

【担当課：道路環境課】

事業名	公共交通アクセス環境整備事業	路線名等	
箇所名	奈良市東向北町		
事業の概要	目的	近鉄奈良駅から県立文化会館・県立美術館を経由し、奈良公園を結ぶ歩行者空間の整備を行うにあたり、玄関口である近鉄奈良駅の歩行者環境の整備を行うことを目的とする。	
	事業内容	近鉄奈良駅地下エントランスと大宮通りを結ぶ既存階段に、エスカレーターを設置。	
	着手年度	平成25年度	完成年度 平成26年度 全体事業費 500百万円
定性的評価	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮通りプロジェクトにおいて、県庁周辺の魅力向上のため、県立文化会館、県立美術館等から奈良公園に至る新たな歩行者空間を整備することとしており、その一環として駅からのアクセス向上を図るために必要。 ・近鉄奈良駅の既存昇降施設は、大宮通り南側のみ整備されている状況。 ・大宮通り北側につながるエスカレーターがないことにより、北側への円滑な移動を阻害しているため、整備が必要。 	
	上位計画等	・奈良県交通基本戦略 ・大宮通りプロジェクト(県庁周辺)	
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<p>【費用対便益】 B/C=</p> <p>【便益に計上されていない効果】</p> <p>①新たな観光動線の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーター整備により、近鉄奈良駅から大宮通北側へのアクセスが容易になり、近鉄奈良駅 から奈良公園への新たな観光動線を創出 <p>②周辺施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮通北側に点在する東向北商店街・文化会館・美術館等へのアクセスが向上する。 <p>③奈良公園の周遊性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在整備を検討している(仮称)登大路ターミナルへのアクセスが向上することにより、奈良公園全体の周遊性が向上。 	
	コスト縮減への取組み		
	他計画他事業との関連	・文化会館前庭及び県庁北側道路を含めた歩行者空間整備を平成26年度実施予定。	
評価結果	左の理由		
採択	大宮通りプロジェクト(県庁周辺)の一環として、奈良公園への歩行者空間の環境を向上させるために必要。		

【位置図】



© OpenStreetMap contributors

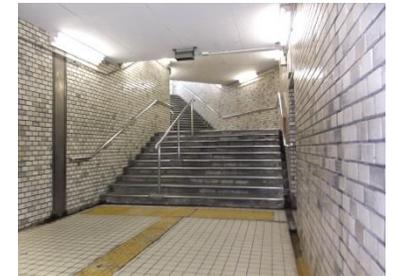
○近鉄奈良駅 北東出口付近写真

←→ : 歩行者動線(計画)

【写真】



【写真】



【写真】



【現況】

◇既設階段
幅員 W=3.50m
高低差 H=8.05m